

高志

長岡高専同窓会報 第21号

発行月 令和4年12月

主な内容

会長あいさつ	1
名誉会長・副会長あいさつ	2
事業及び支援	3
令和の長岡高専	4,5
部活動特集	6,7
体育大会入賞者	8
教員・技術職員 異動	9
会員通信・新常任理事あいさつ	10
学科および専攻科の進路状況	11
同窓会長賞受賞者紹介	12,13
収支報告	14
事業年表・高志会の活動紹介・編集後記	15
お知らせ掲示板	16

会長あいさつ

(高専電気15回卒) 古田島 智裕



会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

3年に1回の同窓会報の年がやってきました。前回（令和2年3月発行）の会報を読み返してみると、当然のよう

に新型コロナウイルスに関する話は全くありません。3年の間で世の中が変わってしまいました。長岡高専でも、リモート授業となり学年末試験が実施されないこともありました。卒業式も行われなかった年もありました。世の中の流れに従い仕方がないことですが、学生には大変残念なことでした。

そんな中でも、昨年オンラインで学園祭の様子を配信するという新たな試みが実施されました。配信先は限定されてはいましたが、私も当日学校には行けませんが事後に青森から学園祭気分を味わうことが出来ました。

Withコロナ・Afterコロナの考えで、生活の一部として新型コロナウイルスは扱われ始め、世の中がそうであるように学生の生活も落ち着きつつありますが、同窓会としては感染拡大状況を鑑みて、令和4年5月に非接触型検温器10台を長岡高専に寄贈しました。

また、進学率については、平成28年度以降で見

みると平均で65%、求人倍率も30~40%を維持しており、新型コロナウイルスの影響は見られません。

ただ、ロシアによるウクライナ侵攻の影響が、私たちの生活に大きな影を落としています。様々な品物の度重なる値上げ、半導体を中心とした納期の長期化など、新型コロナウイルスの影響に更に加わったものですから、とても大きな影響となっています。私が仕事をしている業界でも、制御装置の更新は半導体納期の影響をもろに受けていますし、半導体業界の増産による耐フッ素製品の不足も大きな影響を及ぼしています。燃料の高騰も、これからの季節に大きく響きます。

最近、山手線自動運転の試験運転の話がニュースに取り上げられていましたが、私たちの知恵と工夫でチャレンジし、苦難を乗り越えなければならない時期と思います。

そのためにも、同窓会は世代を超えた同窓生の交流の場、学生の支援、地域への貢献など存在意義のある組織であり続ける必要があると考えています。

引き続き会員の皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い致します。役員一同も、一丸となって活動してまいります。

最後に、会員の皆様のご健勝とますますのご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

名誉会長・副会長あいさつ

名誉会長挨拶



長岡工業高等専門学校長

小林 幸夫

同窓会会員の皆様、初めまして。本年4月に着任しました小林幸夫と申します。どうぞ

よろしくお願ひ致します。私も高専出身で、群馬高専から長岡技術科学大学大学院を修了後、民間企業等を経て、小山高専、鉦路高専と教員生活を送ってきました。長岡には40年ぶりに戻ってきたことになります。

今年、令和4年(2022)は、高専制度創設以来60周年の節目の年です。高専1期校の長岡高専にとっても、創立60周年になります。学校要覧の沿革によれば、昭和37年(1962)に開校し、昭和42年(1967)に第1回の卒業式を挙行しています。以来、卒業式は高専として56回挙行されており、511名の長岡工業短期大学の同窓生と合計して10,838名の同窓会会員がいることになります。

現在、国際的に高専に対する期待は大きく、海外からの要請により高専制度をタイ、モンゴル、ベトナムに創設(輸出)しています。長岡高専でも、これらの国からの留学生を受け入れるとともに、その他の国とも国際交流や学術交流を積極的に行っています。

また、長岡高専では特色ある教育として、学科・専攻科横断型一貫教育プログラムとして、ヴァンガード・エンジニア育成プログラム、システムデザイン教育プログラム、アントレプレナー育成プログラムを実施しています。

さらに、変化する社会に適応するために、基盤となる低学年からの教育活動(地域を学び舎とするキャリア教育、プレラボによる低学年からの研究活動、AIR Tech リテラシー教育)にも力を入れています。

60周年を迎え、未来に向かって更なる飛躍をするべく、高専教育を実践していきます。同年代の1%しかいない高専生ですが、“山椒は小粒でもピリリと辛い”学生を育てていければと思います。

皆様からのご支援を賜ることができれば幸いです。

副会長挨拶



(高専機械28回卒)

加納 孝樹

こんにちは、加納孝樹です。あいさつの代わりに、私の周辺でありました長岡高専がら

みのトピックスをご紹介します。

- 1、長岡高専発のベンチャー企業・インテグライ様の「AIの目」導入。DCON2019最優秀賞の技術です。現場のニーズをどんどん取入れ進化するシステム、中小企業のデジタル化を後押ししてくれています。【検索：長岡高専 ベンチャー】
- 2、機械工学科3年生の工場見学。実際の製造現場や会社の仕組みなどを紹介しました。僕らの頃に比べ、うんと大人なそして進路を見据えた質問にたじろぎながらも、先輩風をびゅうびゅう吹かせながら回答させて頂きました。【検索：長岡高専 工場見学】
- 3、学園祭パンフレット。僕の同級生が90年代前半の学園祭パンフを見せてくれました。懐かし〜。男くさい表紙、手作りの中身、みんな元気かな…。“あかちょうちん”の協賛広告にも時代を感じます。ちなみに2022未工祭パンフはフルカラーでデザインも凝り可愛らしく仕上がっていました。【検索：長岡高専 未工祭2022】

ぜひ検索して、今の長岡高専を話題にして頂けたら幸いです。あっ、古い学園祭パンフは、長岡宮内の“カレー研究所”で店主に声をかけたら閲覧できますよ。それでは健康第一で…ごきげんよう。



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 学生支援のための寄付のご報告

事務局長(高専化学21回卒)
小 出 学

2020年1月(令和2年)から日本における感染拡大が始まり、長岡高専では、令和元年度卒業式と令和2年度入学式中止、遠隔授業の実施、学生会活動や部活動の自粛が進められました。このような学生が充実した生活を送ることが難しく、不自由な状況にある喫緊な課題への対応を長岡高専と協議させて頂き、理事会にて230万円の学生支援のための寄付を決め、令和3年4月19日に贈呈致しました。また、感染対策が進むと同時に授業は対面授業に戻り、課外活動も徐々に制限がなくなりつつありますが、波となって現れる感染拡大への対応として、校舎入口への非接触型検温器の設置を協議し、10台を寄付することとし、令和4年6月16日に贈呈致しました。

これまでに経験したことのな

い新たな感染症への対応となり、拡大の規模や自粛期間が想像できない状況ではありましたが、学生への支援と感染拡大防止対策を長岡高専と前向きに連携協議しながら進めさせて頂きました。長岡高専からこの寄付に対して感謝状を頂くとともに、同窓会との密接できめ細やかな関係に謝意を伝えられました。会員の皆様におかれましては、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。コロナ感染症拡大の終息を祈念し、ご報告とさせていただきます。



ペアレンツ&ホームカミングデーの開催

常任理事(高専電気29回卒)
島 宗 洋 介

2021年11月6日(土)13:00~「Parent's & Homecoming Day 2021 in Nagaoka Kosen」を配信いたしました。本企画は、在学生の保護者の方々並びに卒業生の皆様に長岡高専の現在の様子を知っていただくための企画として、後援会と同窓会による合同企画として初めて開催いたしました。冒頭で、卒業式を開催することができなかった令和元年度卒業生の皆様にむけて、原田校長ならびに古田島会長より応援と祝福のメッセージを送っていただきました。また、学内に設けたスタジオとリポーターを中継でむすび、各学科の先生方の研究室紹介を行いました。上田夏子さん(高専環境20回卒)と電気電子システム工学科の和久井先生(高専電制15回卒)の二人にリポーターとして楽しく中継をしていただき

ました。他にも高専設立当初の風景を振り返ったりと様々な企画を行いました。オンラインでのライブ配信とその後の期間限定のアーカイブ配信で全国各地から合計アクセス数572回にもおよぶ視聴をいただきました。本運営に多大なるご協力を頂きました佐藤顧問(Comii様)を始め後援会の皆様に感謝申し上げます。



スタジオ配信風景(上)、
リポートの様子(下)

昭和・平成・令和そして高専制度 60周年を迎えて

前身の長岡工業短期大学設置（1961）、長岡工業高等専門学校設置（1962）、機械工学科（2）・電気工学科（1）・工業化学科（1）、土木工学科設置（1968）、機械工学科を電子制御工学科改組（1990）、女子寮「清花寮」竣工（1992）、工業化学科を物質工学科に改組（1994）、土木工学科を環境都市工学科に改組（1995）、専攻科設置（2000）、校舎6号館竣工（2002）、独立行政法人化および電気工学科を電気電子システム工学科に改組（2004）、新潟県中越地震（2004）、震災復興記念式典挙行（2006）、技術者教育プログラムJABEE認定（2006）、創立50周年記念式典挙行（2012）、国際寮「悠和寮」竣工（2021）、創立60周年（2022）、独法化後国立高等専門学校機構の名の下に、日本全国にある高専が一つという意識が醸成されてきました。全国国立高専数（51）、総学科数（176）、学生総数（全国：約51,000、長岡：約1,100）、教職員数（全国：約6,000、長岡：約110）、進路：本科（全国2021：進学40%、就職

常任理事（高専化学15回卒）
総務主事 鈴木 秋 弘

56%）、（長岡2021：進学60%、就職39%）、専攻科（全国2021：進学31%、就職67%）、（長岡2021：進学36%、就職64%）学生数のみでいうと国立の高等教育機関としては、一番大きい組織になります。しかし、日本の人口数の推移を見ると15歳人口（全国約1,075,000、長岡：約18,800）は減少の一途をたどっています。高専は今、日本で再評価され、海外展開（タイ、モンゴルなど）も進めています。長岡は今一度自分たちの足下を見つめ直し、入学してくれた学生が自分の将来に夢を持ち、社会に飛躍していく後押しをしたいと考えています。最後に、2018年から始めた“さくら基金”の寄付累計額は¥12,560,000となり、教育・研究、国際交流、学生活動支援など幅広く活用させていただき、その結果も見えてきています。引き続き、長岡高専・学生が社会・世界で活躍するために同窓会の皆さまからご支援を賜ることができれば幸いです。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

遠隔授業活用の先に見えてきたこと

教務主事 村上 能 規

2020年1月に中国武漢市から拡大したコロナウイルスがこれほどまでに長岡高専の授業や学事日程に大きな影響があるとは想像しませんでした。これまで盛んに活動してきた国際交流活動も、各種連携教育活動もすべて止まってしまいました。登校は禁止、授業は全くもって模索状態のまま遠隔授業突入でした。一度、収まったかに見えたコロナ感染の波が何度も襲いかかり、卒業式までもが中止、当該学生には申し訳なく思った次第です。コロナ感染拡大の2年目以降は流行語にもなった「3密回避」、「ソーシャルディスタンス」確保をもって、なんとか通常の対面式授業を実施する形を維持しましたが、昨年度末からのオミクロン株の感染拡大でまたもや、遠隔授業となってしまいました。ここ数年はコロナ感染拡大の対応に追われた日々でしたが、実はその間にも、長岡高専にもいろいろな動きはありました。今、高等専門学校に対する期待が大きいものがあり、長岡

高専もその期待に応えるべく様々なプロジェクトに応募、採択、そして活動を展開してきました。AI、IoT教育では低学年からのAI教育として全学的な教育プログラムを組みました。他高専に先駆け、低学年で全学科にAI教育を実施することができています。グローバルエンジニア事業では世界教育標準のCDIO参画に加え、JICAの連携事業にも参加、アントレプレナーシップ事業では長岡高専の卒業生が会長を務める企業と連携してプログラミング講義などを実施しました。近年の授業のICT化の流れに合わせ、教室もホワイトボード、電子黒板も全装備されました。授業遠隔配信も今では全学生が対応できる程になっています。今後も高専教育への期待と要望に応えることは現任教員として重要と考えております。今後も一層強力なご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍における課題活動・学生会活動

学生主事 新井好司

日本でのコロナ感染の拡大が始まったR2年度では、本校でも4月から学生が登校せずに遠隔授業の形で学校が始まりました。そのため、この年には本校の部活動などの多くの課外活動や学生会行事も大きな制約を受け、活動ができない状態が長く続き、多くの大会・コンテストなども中止となりました。4月に入学したばかりの1年生や大会への参加が最後の機会であった高学年の学生達にとっては非常に辛い思いをした年であったと思います。

R3年度からは感染対策を実施しながら、部活動などの各種課外活動や各大会・コンテストへの参加が行われるようになりました。学生会行事においても学生会役員を中心とした学生達が自ら感染対策を実施した上でどの様な形で実施できるかを検討し、文化競技会・体育祭・学園祭・クラスマッチを無事に実施することでできました。一方で、感染の再拡大に伴い、4年生の見学旅行も中止となり、部活動では本校の全国高専大会への参加も取りやめとなりました。また、年度末には、感染の再拡大に伴い、学生の登校を伴わない遠隔授業が再度行われること

になり、それに伴い部活動などの課外活動ができない状態となりました。

今年度においては、年度初めに1～3学年で学年閉鎖が行われる期間はありましたが、多くの課外活動や学生会行事が感染対策を実施の上ですが、コロナ禍以前に近い状態での活動が再開され、多くの部活が例年通りの各大会やコンテストに出場しました。特に高専大会では、多くの部が全国高専大会に参加するなどの活躍を見せてくれました。学生会行事も例年どおり、実施予定です。今後もコロナ感染対策が必要な状態は続きますが、徐々にコロナ禍前の状態に近づいているのが感じられ、今後の学生達の活躍を期待したいと思います。



初年度の寮の感染対策と国際寮

常任理事(高専電気21回卒)

寮務主事 市村勝己

Covid-19の出現で生活様式が大きく変化した2020年4月から舵取りを任されてきました。初年度の寮内感染症対策と新しく運用が始まった国際寮についてご紹介します。

まだワクチンも出回ってない初年度に寮運営を任された当時は右往左往の状態でした。開寮有無の議論に始まり、前期は遠隔授業でスタート。高専機構本部から寮個室化の推奨、本校も複数人部屋を個室使用する方針とし受入数を大幅縮小へ。これに伴い既に入寮許可した者のうち選考時下位ランク約40名の許可取消の必要に迫られ、受け皿探しで周辺アパートや下宿の情報収集、更に当時の事務部長らと市営住宅の一部借上げの相談で市役所に。その後、対象の寮生保護者に説明するも納得いかない方からは厳しいお叱りの声。結局、複数人部屋にカーテン設置で対応し、入寮許可取消しは行いませんでした。そ

こに至る迄も市営住宅借上げ情報の混乱で市関係者の方に迷惑を掛けることに。市からもお叱りを頂くといった苦い経験の連続でした。

国際寮は全国51高専のうち本校含む国際交流活動が盛んな17校が選ばれ、同じ設計仕様で建設。落成式は2021年12月15日、開寮は冬休み明け。落成式の前に学生教職員からネーミングを募集し、選考委員会での審議の結果、当時の学生課長の発案による「悠和寮」に決定。この他、新たに国際寮入寮選考基準を設け、長岡市内の学生も入寮可能と、一年生でも国際交流に積極的な者は国際寮の個室で生活が出来るようにしました。初年度は感染拡大で国際寮は約1カ月間のみが開寮でした。初代悠和寮の館長には環境4年(当時)の加藤さんが選ばれました。国際寮の見学には是非一度足を運んでみて下さい。

部活動特集

バスケット部の躍進、 男子は念願の全国大会優勝

バスケットボール部は同一クラブ内に男子チームと女子チームがあり、いずれも高専大会を最大の目標に活動に励んでいます。新型コロナウイルスの蔓延により、令和2年度は高専大会が中止となり、部員たちも不完全燃焼の日々を過ごしたことと思います。大会が再開した令和3年度、男子は全国大会への切符をつかみ、延期となりつつも開催された大会では、各試合僅差の接戦を制し、41年ぶり5度目の優勝を果たすことができました。令和4年度は感染拡大、学年閉鎖などにより、たびたび活動休止となり、満足な練習ができないまま、高専大会に臨むことになりました。しかし男女とも新たな部員を迎え、上級生がチームを盛り立て、全国出場を目指して大会に挑みました。男子は全国大会に出場し、連覇をかけて決勝に進出しましたが、西日本1位のチームに終始リードされ、一時は追いつく場面もありながら、持ち味を出し切れないうま敗れました。女子も

バスケットボール部顧問 山 岸 真 幸

毎年高専地区大会決勝進出を果たすほど継続して成果を残していますが、あと一步のところまで全国出場が果たせず、悔しい思いが続いています。男女とも今年の悔しさをバネに、来年度に向けて練習に励んでいます。



活動の幅を広げる化学部

近年化学部は、学園祭や文化発表会のみならず、各種コンテストや地域のイベントにも参加するなど活動の幅を広げています。特に、新潟県化学インターハイでは11連覇を達成！ジュニア農芸化学会にも出場し、研究成果を発表する事もありました。長岡技術科学大学主催の全国の高専生を対象としたHakkoコンテストでも受賞するなど、研究活動にも力を入れています。さらに近年は、長岡市が共催し長岡の発酵文化を広く発進するイベントである「Hakko Trip」(2019年度スタート)

化学部顧問 赤 澤 真 一

に毎年体験ブースを出展し好評を得るなど、長岡市にも本校化学部の活動は知れ渡っており、イベントには欠かせない存在となっています。このような活動により、大学や高校生との交流、市や関係団体との交流が生まれており、学生の成長に繋がってくればと期待しています。



Hakko Tripでの出展



コロナ禍で行った化学インターハイ実験の様子

部活動特集

新潟が活気付いてきた！ ～陸上（長岡）開催は47年振り～

陸上部顧問 江田 茂行

平素より長岡工業高等専門学校（以下、本校という）の教育研究活動（ここでは課外活動を中心）にご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。本校陸上競技部第1顧問、一般教育科保健体育の江田茂行と申します。長岡高専に赴任（2002年）にして、今年で21年目となりました。

さて、令和5年度（来年度）に実施される第58回全国高等専門学校体育大会の当番地区が関東信越地区となり、陸上競技種目の当番校が本校に決定しました。長岡（新潟）開催は第11回大会以来、47年振りになります。大会開催予定は、令和5年8月26日（土）～令和5年8月27日（日）、競技会場は2002年サッカーワールドカップも開催されたデンカビッグスワンスタジアム（新潟市）です。が、サッカーのアルビレックス新潟が2017年のシーズン以来、6季ぶりにJ1に復帰（昇格）し、新潟が再び活気付いてきました。会場確保はJ1試合日程次第になりま

すが、開催時期が重なった場合は、長岡市陸上競技場で開催も視野に入れています。

本校陸上競技部の成績（全国高専大会）をみると、総合優勝は第21回宇部大会、準優勝は第27回東京大会。歴代優勝種目は男子種目の三段跳2回、5000m 3回、4×400mリレーの2連覇、800m 2回、110mハードル3連覇を含む4回です。

昨年度（愛媛大会）は男子400m、800mで準優勝。男子110mハードルで4位と6位のダブル入賞。男子走り幅跳びで8位入賞。男子4×100mリレーで5位入賞。男子4×400mリレーは残念ながら決勝棄権となりましたが、予選トップ通過でした。来年度はエース核5年生2名が抜ける穴が大きいですが、ここは伝統校。後輩たちがしっかりと力をつけて成長してくれることを期待します。同窓会員の皆様の応援もよろしくお願いいたします！

令和5年度全国高専体育大会のお知らせ

令和5年度は6年ぶりに関東信越地区で全国高専大会が開催されます。各競技の開催校をご確認いただき、もしご近所で開催される競技があればぜひ観戦・応援にお越しください！

競技種目	開催校	競技種目	開催校
陸上競技	長岡高専	硬式野球	群馬高専
バスケットボール	産技高専 品川	サッカー	小山高専
バレーボール	茨城高専	ハンドボール	サレジオ高専
ソフトテニス	東京高専	テニス	東京高専
卓球	茨城高専	バドミントン	産技高専 荒川
柔道	木更津高専	水泳	長野高専
剣道	木更津高専		

競技日程等の最新情報は全国高専連合会のホームページにてご確認ください。

<https://www.kosen-all.or.jp/>

体育大会入賞者

令和元年度 関東信越地区高専体育大会

◎陸上競技		
男子4×400mリレー	3位	
男子110mハードル	1位	山本 温人
	3位	大平 龍臣
男子200m	3位	山本 温人
男子400m	3位	矢野 哲平
男子800m	2位	矢野 哲平
男子1500m	2位	星野 匡範
女子4×100mリレー	3位	
女子100m	2位	比企 彩菜
女子200m	2位	比企 彩菜
◎バスケットボール		
男子	優勝	
女子	準優勝	
◎ソフトテニス		
男子団体	2位	
女子ダブルス	1位	佐藤(心)・佐藤(き)組
	2位	志賀・木村組
◎卓球		
女子ダブルス	3位	伊藤・早川組
◎バドミントン		
男子団体	2位	
男子ダブルス	1位	大月・野口組
男子シングルス	2位	大月 一摩
◎柔道		
男子団体	優勝	
男子個人60kg級	優勝	野嶋 太智
	準優勝	清水 颯斗
男子個人90kg級	準優勝	武樋 力
女子個人63kg級	優勝	飯野 杏
◎水泳		
男子400mフリーリレー	2位	
男子400mメドレーリレー	2位	
男子50m自由形	3位	神林 昂
男子200m自由形	2位	伊藤 優樹
	3位	安部 蓮
男子400m自由形	3位	秋山 義紀
男子800m自由形	2位	秋山 義紀
	3位	土田 流輝
男子100m背泳ぎ	2位	神林 昂
男子100m平泳ぎ	2位	谷口 諒
	3位	高橋 匠斗
男子200m平泳ぎ	1位	谷口 諒
	2位	高橋 匠斗
男子100mバタフライ	2位	込山 拓実
	3位	栗林 新
男子200mバタフライ	3位	込山 拓実
男子200m個人メドレー	3位	栗林 新
女子200mメドレーリレー	1位	
女子50m自由形	7位	箭内 奏依
女子100m自由形	1位	進藤 友紀

令和元年度 全国高専体育大会

◎陸上競技		
男子110mハードル	1位	山本 温人
	5位	大平 龍臣
男子400mハードル	7位	山本 温人
男子800m	6位	矢野 哲平
◎柔道		
男子団体	3位	
◎水泳		
男子400mフリーリレー	4位	
男子400mメドレーリレー	3位	

男子200m自由形	4位	伊藤 優樹
	8位	安部 蓮
男子400m自由形	8位	秋山 義紀
男子800m自由形	5位	秋山 義紀
男子100m平泳ぎ	7位	谷口 諒
男子200m平泳ぎ	4位	谷口 諒
	6位	高橋 匠斗
男子200mバタフライ	7位	込山 拓実
◎ソフトテニス		
女子ダブルス	3位	佐藤(心)・佐藤(き)組

(R2年度は新型コロナウイルス感染症の
影響で中止)

令和3年度 関東信越地区高専体育大会

◎陸上競技		
男子100m	2位	酒井 優音
男子200m	1位	酒井 優音
男子400m	2位	矢野 哲平
	3位	中野 悠
男子800m	1位	矢野 哲平
男子1500m	1位	星野 匡範
男子5000m	1位	星野 匡範
男子110mハードル	1位	大平 龍臣
	2位	山本 温人
男子走幅跳	1位	深森 博英
男子4×100mリレー	優勝	
男子4×400mリレー	優勝	【大会新記録】
◎バスケットボール		
男子	優勝	
女子	準優勝	
◎ソフトテニス		
男子団体	準優勝	
男子ダブルス	優勝	金井・赤井組
女子ダブルス	優勝	佐藤(心)・佐藤(き)組
	2位	鈴木・本間組
◎バドミントン		
男子団体	2位	(優勝 小山高専)

令和3年度 全国高専体育大会

◎バスケットボール		
男子	優勝	
◎ソフトテニス		
女子ダブルス	3位	佐藤(心)・佐藤(き)組
◎柔道		
男子個人81kg級	3位	岩本 凌汰
◎水泳		
男子50m自由形	7位	神林 昂
男子400m自由形	5位	土田 流輝
男子800m自由形	5位	秋山 義紀
男子100m背泳ぎ	4位	神林 昂
男子100mバタフライ	8位	込山 拓実
男子200mバタフライ	8位	込山 拓実
女子100m自由形	優勝	小出 雫雪
女子200m個人メドレー	2位	小出 雫雪

令和4年度 関東信越地区高専体育大会

◎陸上競技		
男子200m	1位	小山 大和
男子400m	2位	矢野 哲平
男子800m	2位	矢野 哲平
	3位	中野 悠
男子5000m	3位	丸山実輝斗
男子110mハードル	1位	深森 博英

男子3000mSC	2位	河内駿太郎
男子走幅跳	3位	嶋津 明良
	1位	深森 博英
	3位	小林 勇貴
男子4×100mリレー	1位	
男子4×400mリレー	1位	
◎バスケットボール		
男子	優勝	
女子	準優勝	

◎ソフトテニス		
男子団体	2位	
女子ダブルス	優勝	本間・鈴木組
	2位	大瀧・梶山組
◎サッカー		
準優勝		

◎卓球		
男子団体	優勝	
男子シングルス	優勝	西山 陽樹
	2位	小野塚 蓮
	2位	西山・東組
男子ダブルス		
	2位	西山・東組

◎柔道		
男子団体	優勝	
男子66kg級	優勝	野嶋 太智
男子73kg級	2位	關 愛仁
男子81kg級	優勝	矢代 魁生
男子81kg級	2位	岩本 凌太
男子無差別級	2位	島津隆之介

◎水泳		
団体	優勝	
男子200m自由形	3位	小出 彪威
男子100m平泳ぎ	2位	谷口 諒
男子50m自由形	1位	神林 昂
男子100m背泳ぎ	1位	神林 昂
男子100mバタフライ	1位	込山 拓実
男子200mバタフライ	2位	込山 拓実
男子400m自由形	3位	土田 流輝
男子800m自由形	1位	土田 流輝
男子200m平泳ぎ	3位	星野 咲空
男子4×100mメドレーリレー	1位	
女子100m平泳ぎ	2位	熊澤 綾子
女子100m自由形	1位	小出 雫雪
女子100mバタフライ	1位	小出 雫雪
女子4×50mフリーリレー	1位	
女子4×50mメドレーリレー	1位	

令和4年度 全国高等専門学校体育大会

◎陸上		
男子400m	2位	矢野 哲平
男子800m	2位	矢野 哲平
男子110mハードル	4位	河内駿太郎
	6位	深森 博英
男子走幅跳	8位	深森 博英
男子4×100mリレー	5位	
◎バスケットボール		
男子	準優勝	
◎柔道		
男子66kg級	優勝	野嶋 太智
◎水泳		
総合	2位	
男子50m自由形	4位	神林 昂
男子4×100mメドレーリレー	4位	
女子100m自由形	優勝	小出 雫雪
女子100m平泳ぎ	2位	熊澤 綾子
女子100mバタフライ	2位	小出 雫雪
女子4×50mフリーリレー	4位	
女子4×50mメドレーリレー	優勝	

教員・技術職員異動 (令和2年1月1日～令和4年11月1日)

【採用、再雇用、転入】

令和2年1月1日付け
白井 一義 環境都市工学科 助教 …… 採用

令和2年3月1日付け
熊尾 紗耶 一般教育科助教 …… 採用
Phetsang Sopit 一般教育科特命助教 …… 採用
Nayani Dhanushka Daranagama 一般教育科特命助教 …… 採用
丸山 聡 環境都市工学科特命助教 …… 採用

令和2年4月1日付け
原田 信弘 長岡工業高等専門学校長 …… 配置換(北九州高専より)
山岸 真幸 機械工学科准教授 …… 出向期間 満了(豊橋技術科学大学より)
市川 智之 一般教育科助教 …… 採用
金子 忠夫 機械工学科嘱託教授 …… 採用
松永 茂樹 一般教育科嘱託教授 …… 再雇用
坂井 俊彦 物質工学科特任教授 …… 再雇用

令和2年6月1日付け
葛 将哉 電気電子システム工学科技術職員 …… 採用

令和2年9月1日付け
内田 雄大 電気電子システム工学科助教 …… 採用

令和2年12月1日付け
Tania Guadalupe Peñafior Galindo 一般教育科特命助教 …… 採用

令和3年4月1日付け
武樋 孝幸 一般教育科講師 …… 採用
ナミタ マハルジャン 一般教育科助教 …… 採用
クラベット タネット 一般教育科特命助教 …… 採用
玉山 泰宏 電気電子システム工学科准教授
… 採用(長岡技術科学大学とのクロスアポイントメント)
渡部 康平 電気電子システム工学科准教授
… 採用(長岡技術科学大学とのクロスアポイントメント)
葛 将哉 電気電子システム工学科特命助教 …… 採用
山口 勇氣 物質工学科講師 …… 採用
熱海 良輔 物質工学科助教 …… 採用
松永 茂樹 一般教育科嘱託教授 …… 再雇用
坂井 俊彦 物質工学科嘱託教授 …… 再雇用

令和4年1月1日付け
川上 周司 環境都市工学科准教授 …… 配置換(阿南高専より)
兵藤 桃香 一般教育科助教 …… 採用

令和4年3月1日付け
早川 佳孝 機械工学科助教 …… 採用

令和4年4月1日付け
小林 幸夫 長岡工業高等専門学校長 …… 配置換(釧路高専より)
根本 栄一 一般教育科准教授 …… 採用
増田 寿枝 一般教育科特命助教 …… 採用

【退職、転出】

令和2年3月31日付け
竹茂 求 長岡工業高等専門学校長 …… 配置換(鈴鹿高専へ)
松永 茂樹 一般教育科教授 …… 定年退職
坂井 俊彦 物質工学科教授 …… 定年退職
片桐 裕則 電気電子システム工学科嘱託教授 …… 雇用期間 満了退職
太刀川信一 電子制御工学科嘱託教授 …… 雇用期間 満了退職
鯉江 秀行 一般教育科助教 …… 雇用期間 満了退職
外川 一仁 電子制御工学科准教授 …… 退職
押木 守 環境都市工学科准教授 …… 退職(北海道大学へ)
渡邊美奈子 電気電子システム工学科技術職員 …… 退職

令和2年9月30日付け
Nayani Dhanushka Daranagama 一般教育科特命助教 …… 退職

令和3年3月31日付け
荒木 信夫 環境都市工学科教授 …… 昇任(転出)(一関高専校長へ)
中村 奨 電気電子システム工学科教授 …… 配置換(タイ高専へ)
福田 昇 一般教育科教授 …… 定年退職
金子 忠夫 機械工学科嘱託教授 …… 雇用期間 満了退職
熊尾 紗耶 一般教育科助教 …… 雇用期間 満了退職
鈴木 義之 物質工学科特命助教 …… 雇用期間 満了退職
松永 茂樹 一般教育科嘱託教授 …… 雇用期間 満了退職
坂井 俊彦 物質工学科特任教授 …… 雇用期間 満了退職
葛 将哉 電気電子システム工学科技術職員 …… 退職

令和4年3月31日付け
丸山 聡 環境都市工学科特命助教 …… 雇用期間 満了退職
原田 信弘 長岡工業高等専門学校長 …… 定年退職
宮腰 和弘 環境都市工学科教授 …… 定年退職
河本 絵美 物質工学科准教授 …… 配置換(沖縄高専へ)
玉山 泰宏 電気電子システム工学科准教授 …… 雇用期間 満了退職
渡部 康平 電気電子システム工学科准教授 …… 雇用期間 満了退職
松永 茂樹 一般教育科嘱託教授 …… 再雇用期間 満了退職
坂井 俊彦 物質工学科嘱託教授 …… 再雇用期間 満了退職

あの頃の未来



JFE精密株式会社
(高専機械17回卒)

陸 寛 光

SMAPの歌に「あの頃の未来に僕は立っているのかな……」と言う歌詞があるが、時々そんなことを考えたりする。

あの頃は「長岡高専出身は優秀だと認知してもらいたい」「国際的なセンスを持った研究員になりたい」と思っていた。はて、いまはどうか？幸い、高専の先生方のご尽力でロボコンでの活躍等で優秀さの認知は浸透してきた。「国際的な……」の方はまだまだ未熟で、あの頃の未来には程遠い。しかし、こうして今でも頑張ってもらえるのも高専時代に培った人脈や経験、とりわけ自分の頭で考えることを教えてくれた高専の先生方のお陰と感謝している。

美しい有機化学との出会いから世界へ



富士フイルム株式会社
(高専物質11回卒)

坂 井 優 介

現在社会人10年目となりますが、高専－大学－大学院－社会人とかれこれ16年近くフラスコとにらめっこをしております。

高専の卒業研究ではポルフィリンという色素をテーマとしており、色の変化する反応や色とりどりの精製過程に胸を躍らせていた記憶がよみがえります。色に縁があるのか、入社後も富士フイルムの源流とも言える色素の研究開発に一貫して取り組むことができ、今も色が変わるフラスコを眺めてはこぶしを握る日々です。段々とデスクワークや営業のような業務も増えてきましたが、16年前と同じく、驚くような分子を世に送り出したいという気持ちと色素の美しさを感じながら、世界をひとつずつ変えていきたいと思います。

新常任理事あいさつ

(高専環境4回卒) 環境都市工学科

川 上 周 司



令和4年の1月に長岡高専の環境都市工学科に着任致しました川上周司と申します。平成15年に環境都市工学科を卒業、平成17年に環境都市工学専攻を修了し、18年ぶりに母校に帰って参りました。微力ではございますが、長岡高専の発展のために少しでも力になればと考えております。

よろしくお願ひ致します。前職は徳島県の阿南高専で10年ほど勤務しておりました。一口に高専と言いましても学校によって雰囲気や文化も異なりそれぞれの良さがございます。これまでの長岡高専の良き伝統を守りながら、異なる視点で新しい風をと考えております。今後ともよろしくお願ひ致します。

(高専電電1回卒) 教育技術支援センター

中 村 浩 祐



令和4年3月から教育研究技術支援センター技術職員として勤務しております中村浩祐と申します。

平成20年に電気電子システム工学科を卒業、長岡技術科学大学を経て一般企業にシステムエンジニアとして9年在籍したのちに母校へと戻ってきました。

現在は電気電子システム工学科の実験・実習を担当する傍ら、自分が学生の頃にも所属していた陸上部の指導を行っています。

教育を通して、企業で培ってきた専門知識や経験をこれからの学生に伝えていければと思っております。

これから同窓会の常任理事として精進していく所存ですので、会員の皆様には温かいご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。

■ ■ ■ ■ ■ 学科および専攻科の進路状況 ■ ■ ■ ■ ■

令和元年度 令和2年3月現在

■学 科

学 科	区 分	進 路					求人状況			
		卒業生数	進学者数	就職者数		研究生等	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県内	県外					
機 械 工 学 科		35	22	12	5	7	1	579	48.3	102
電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		40	22	18	6	12	0	613	34.1	57
電 子 制 御 工 学 科		38	26	9	6	3	3	486	54.0	64
物 質 工 学 科		34	25	9	2	7	0	249	27.7	39
環 境 都 市 工 学 科		40	28	12	8	4	0	298	24.8	49
計		187	123	60	27	33	4	2,225	37.1	311

※県内求人数内数

■専 攻 科

専 攻	区 分	進 路					求人状況			
		修了者数	進学者数	就職者数		研究生等	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県内	県外					
電 子 機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻		20	9	11	2	9	0	1,521	138.3	208
物 質 工 学 専 攻		6	0	6	1	5	0	216	36.0	37
環 境 都 市 工 学 専 攻		9	2	7	0	7	0	298	42.6	49
計		35	11	24	3	21	0	2,035	84.8	294

※求人数は学科分も含む

令和2年度 令和3年3月現在

■学 科

学 科	区 分	進 路					求人状況			
		卒業生数	進学者数	就職者数		研究生等	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県内	県外					
機 械 工 学 科		34	23	10	5	5	1	546	54.6	79
電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		40	17	18	8	10	5	564	31.3	45
電 子 制 御 工 学 科		34	31	3	2	1	0	423	141.0	44
物 質 工 学 科		39	28	10	0	10	1	249	24.9	27
環 境 都 市 工 学 科		39	24	12	8	4	3	278	23.2	35
計		186	123	53	23	30	10	2,060	38.9	230

※県内求人数内数

■専 攻 科

専 攻	区 分	進 路					求人状況			
		修了者数	進学者数	就職者数		研究生等	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県内	県外					
電 子 機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻		28	7	21	9	12	0	1,412	67.2	160
物 質 工 学 専 攻		8	0	8	0	8	0	233	29.1	26
環 境 都 市 工 学 専 攻		13	5	8	0	8	0	278	34.8	35
計		49	12	37	9	28	0	1,923	52.0	221

※求人数は学科分も含む

令和3年度 令和4年3月現在

■学 科

学 科	区 分	進 路					求人状況			
		卒業生数	進学者数	就職者数		研究生等	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県内	県外					
機 械 工 学 科		41	22	15	11	4	4	482	32.1	60
電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		36	14	22	7	15	0	513	23.3	43
電 子 制 御 工 学 科		29	21	7	4	3	1	395	56.4	38
物 質 工 学 科		45	31	14	6	8	0	204	14.6	21
環 境 都 市 工 学 科		42	23	18	12	6	1	246	13.7	38
計		193	111	76	40	36	6	1,840	24.2	200

※県内求人数内数

■専 攻 科

専 攻	区 分	進 路					求人状況			
		修了者数	進学者数	就職者数		研究生等	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県内	県外					
電 子 機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻		25	9	16	4	12	0	1,262	78.9	127
物 質 工 学 専 攻		7	2	5	2	3	0	200	40.0	21
環 境 都 市 工 学 専 攻		10	4	6	1	5	0	246	41.0	38
計		42	15	27	7	20	0	1,708	63.3	186

※求人数は学科分も含む

同窓会長賞受賞者紹介

■令和元年度同窓会長賞 受賞者

	氏名	学科	所属クラブ等	成績等	
1	青木 尚登	電子制御工学科	アントレプレナー クラブ	JICA-高専オープンイノベーションチャレンジ参加、ケニア代表選出	
2	大谷 俊介	電子機械システム工学専攻			
3	樋口 翔太	電子機械システム工学専攻			
4	齊藤 祐功	電子機械システム工学専攻			
5	酒井 龍一	電子制御工学科	ロボティクス部	平成29年度 全国高専大会 ベスト4 ロボカップジャパンオープン サッカーオープンリーグ2017(全国大会) 4位 ロボカップジャパンオープン サッカーオープンリーグ2018(全国大会) 優勝 Robo Cup2018 Montreal(世界大会) Junior Soccer Open 部門 Individual 準優勝、Suocer Team 3位、 ロボカップジャパンオープン2019(全国大会) サッカーオープンリーグ 準優勝	
6	石橋 和貴	電子制御工学科			
7	酒井 陽太	電気電子システム工学科			
8	竹内系太郎	機械工学科			
9	中田 亘	電子制御工学科			
10	石田 真大	電気電子システム工学科			
11	小海 元暉	環境都市工学科			バスケット ボール部
12	瀧澤 舞	電気電子システム工学科			
13	阿部 圭太	環境都市工学科	柔道部		
14	斎藤 充	環境都市工学科			
15	武樋 力	環境都市工学科			
16	関 凌大	電子制御工学科			
17	西方 敬太	電子制御工学科			
18	山際 大雅	電気電子システム工学科		水泳部	
19	森 菜々子	電気電子システム工学科			陸上部
20	宮崎 凌	機械工学科		野球部	
21	高頭 佑輔	電気電子システム工学科			
22	青木 尚登	電子制御工学科			
23	稲川 廉	環境都市工学科			
24	小柳 颯輝	環境都市工学科			

■令和2年度同窓会長賞 受賞者

	氏名	学科	所属クラブ等	成績等
1	BAYARBAT NOMUNBAYASGALANT	電気電子システム工学科	プレラボ	令和元年度 高専ディープラーニングコンテスト 最優秀賞、企業賞、コニカミノルタ賞受賞 令和2年度 高専ワイヤレスコンテスト 受賞
2	ODONCHIMED SODTAVILAN	電子制御工学科		令和元年度 高専ディープラーニングコンテスト 最優秀賞、企業賞、コニカミノルタ賞受賞 令和2年度 高専ワイヤレスコンテスト 受賞

氏名	学科	所属クラブ等	成績等	
3 伊藤 優樹	電気電子システム工学科	水泳部	平成28年度 全国高専大会 男子200m 自由形 出場、男子400m フリーリレー 出場 平成29年度 全国高専大会 男子100m 自由形 3位、男子200m 自由形優勝、男子400m フリーリレー 3位 平成30年度 全国高専大会 男子100m 自由形 出場、男子200m 自由形 出場、男子400m フリーリレー 出場 平成31年度 全国高専大会 男子200m 自由形 出場、男子400m フリーリレー 出場、男子400m メドレーリレー 3位	
4 栗林 新	電気電子システム工学科		平成29年度 全国高専大会 男子400m メドレーリレー 出場 平成31年度 全国高専大会 男子400m メドレーリレー 3位	
5 進藤 友紀	環境都市工学科		平成28年度 全国高専大会 女子50m バタフライ 出場 平成29年度 全国高専大会 女子100m 自由形 出場、女子50m バタフライ 出場 平成30年度 全国高専大会 女子100m バタフライ 出場、女子200m 個人メドレー 出場 平成31年度 全国高専大会 女子100m 自由形 出場、女子400m メドレーリレー 出場	
6 木歩士碧海	環境都市工学科		平成31年度 全国高専大会 ひろしんビッグウェーブ 女子400m メドレーリレー12位 マネージャーを5年間務めた学生である。リレー種目のメンバーとして参加し、長岡高専水泳部の総合優勝(4回)に貢献した。 平成30年度 日本赤十字社主催水上安全救助員講習講座受講、赤十字救助員認定証Iを取得、The 7th work shop on the water Rescue and survival research (2018.11.03, インドネシア、パタム島)にて発表、「浮いて待て(背浮き)」の海外普及指導員養成講習に指導者として参加、ジャカルタ救助庁女性職員を指導し、「ういてまて」の国際普及に貢献した。	
7 大月 一摩	電子制御工学科		バドミントン部	平成28年度 全国高専大会 出場(男子団体、男子シングルス、男子ダブルス)、男子ダブルス第3位(大和・大月組) 平成29年度 全国高専大会 出場(男子団体、男子シングルス、男子ダブルス) 平成30年度 全国高専大会 出場(男子団体、男子シングルス、男子ダブルス) 令和元年度 全国高専大会 出場(男子団体、男子シングルス、男子ダブルス)

令和3年度同窓会長賞 受賞者

氏名	学科	所属クラブ等	成績等		
1 鈴木 大二	電子機械システム工学専攻	ブレラボ	令和2年度 第1回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2020) 出場		
2 竹内 尚汰	電気電子システム工学科	バスケットボール部	令和3年度 第56回全国高専大会バスケットボール競技 優勝 平成29~令和3年度 第52~56回全国高専大会バスケット競技 出場 (令和2年 第55回大会は中止) 平成29年度、30年度、令和元年度 第8~10回東日本高専バスケットボール大会 優勝		
3 須藤 将丸	環境都市工学科		平成29~令和3年度 全国高等学校体育大会 バドミントン競技 出場		
4 野口 空良	物質工学科		バドミントン部	令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞	
5 篠田 峻平	電気電子システム工学科	ブレラボ	令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞		
6 高橋 夏	電気電子システム工学科		令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト アイニング株式会社賞受賞 令和2年度 国際技能競技会(International WorldSkills Competition) ハバロフスク地区大会 Industrial Design Technology 部門 3位入賞 令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞 令和元年度 高専ディープラーニングコンテスト 最優秀賞、企業賞、コニカミノルタ賞受賞 令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト 企業賞、アイニング株式会社賞受賞		
7 酒井 陽太	電子機械システム工学専攻		令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト アイニング株式会社賞受賞 令和2年度 国際技能競技会(International WorldSkills Competition) ハバロフスク地区大会 Industrial Design Technology 部門 3位入賞 令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞 令和元年度 高専ディープラーニングコンテスト 最優秀賞、企業賞、コニカミノルタ賞受賞 令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト 企業賞、アイニング株式会社賞受賞		
8 星野 大海	電気電子システム工学科		ロボティクス部	令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞	
9 櫻井 康貴	電子機械システム工学専攻			令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト アイニング株式会社賞受賞 令和2年度 国際技能競技会(International WorldSkills Competition) ハバロフスク地区大会 Industrial Design Technology 部門 3位入賞 令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞 令和元年度 高専ディープラーニングコンテスト 最優秀賞、企業賞、コニカミノルタ賞受賞 令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト 企業賞、アイニング株式会社賞受賞	
10 長谷川晴基	機械工学科			令和元年度 全国高等専門学校ロボットコンテスト2020 特別賞受賞(マブチモーター株式会社、協賛賞) 受賞	令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト アイニング株式会社賞受賞 令和2年度 国際技能競技会(International WorldSkills Competition) ハバロフスク地区大会 Industrial Design Technology 部門 3位入賞 令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞 令和元年度 高専ディープラーニングコンテスト 最優秀賞、企業賞、コニカミノルタ賞受賞 令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト 企業賞、アイニング株式会社賞受賞
11 徳江 亘樹	機械工学科				令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト アイニング株式会社賞受賞 令和2年度 国際技能競技会(International WorldSkills Competition) ハバロフスク地区大会 Industrial Design Technology 部門 3位入賞 令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞 令和元年度 高専ディープラーニングコンテスト 最優秀賞、企業賞、コニカミノルタ賞受賞 令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト 企業賞、アイニング株式会社賞受賞
12 越塚リョウ	機械工学科	令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト アイニング株式会社賞受賞 令和2年度 国際技能競技会(International WorldSkills Competition) ハバロフスク地区大会 Industrial Design Technology 部門 3位入賞 令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞 令和元年度 高専ディープラーニングコンテスト 最優秀賞、企業賞、コニカミノルタ賞受賞 令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト 企業賞、アイニング株式会社賞受賞			
13 鈴木 恒輝	電気電子システム工学科	令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト アイニング株式会社賞受賞 令和2年度 国際技能競技会(International WorldSkills Competition) ハバロフスク地区大会 Industrial Design Technology 部門 3位入賞 令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞 令和元年度 高専ディープラーニングコンテスト 最優秀賞、企業賞、コニカミノルタ賞受賞 令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト 企業賞、アイニング株式会社賞受賞			
14 小日向慶人	電子制御工学科	令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト アイニング株式会社賞受賞 令和2年度 国際技能競技会(International WorldSkills Competition) ハバロフスク地区大会 Industrial Design Technology 部門 3位入賞 令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞 令和元年度 高専ディープラーニングコンテスト 最優秀賞、企業賞、コニカミノルタ賞受賞 令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト 企業賞、アイニング株式会社賞受賞			
15 高野 新士	電子制御工学科	令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト アイニング株式会社賞受賞 令和2年度 国際技能競技会(International WorldSkills Competition) ハバロフスク地区大会 Industrial Design Technology 部門 3位入賞 令和3年度 第2回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON2021) 6位入賞 令和元年度 高専ディープラーニングコンテスト 最優秀賞、企業賞、コニカミノルタ賞受賞 令和2年度 高専ディープラーニングコンテスト 企業賞、アイニング株式会社賞受賞			
16 飯野 杏	物質工学科	柔道部	平成29年度 全国高専大会 63kg級 3位 令和元年度 全国高専大会 63kg級 出場 令和3年度 全国高専大会 無差別級 出場		
17 矢代 響	物質工学科		平成30年度 全国高専大会 男子団体 出場 令和元年度 全国高専大会 男子団体 3位 令和3年度 全国高専大会 男子団体 出場		
18 村山 滉太	環境都市工学科		平成30年度 全国高専大会 男子団体 出場 令和元年度 全国高専大会 男子団体 3位 令和3年度 全国高専大会 男子団体 出場		
19 山本 温人	環境都市工学科	陸上競技部	平成29年度 全国高専大会 男子110m ハードル 出場 平成30年度 全国高専大会 男子110m ハードル 準優勝 令和元年度 全国高専大会 男子110m ハードル 優勝、400m ハードル 第7位、4×400m リレー 出場 令和3年度 全国高専大会 出場権獲得(110m ハードル、400m ハードル、4×100m リレー、4×400m リレー) 但し、長岡高専として出場辞退		
20 櫻井 優	環境都市工学科		水泳部	平成29~令和元年度 全国高等学校総合体育大会水泳競技 インターハイ 飛込競技 出場 平成29~令和元年度 第72~74回国民体育大会水泳競技大会 飛込競技 出場 平成30~令和元年度 第41~42回 全国JOCジュニアオリンピック 夏季水泳競技大会 飛込競技 出場 令和2~令和3年度 第96~97回 日本選手権水泳競技大会 出場	

収支報告

令和元年度

収入の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
繰越金	1,755,034	
会費	3,120,000	15,000×208名
利息	24	預金利息
雑収入	514	残高証明手数料 (学校事務分)
収入合計	4,875,572	

支出の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
繰越明許費	1,300,000	会報発行費 次年度繰越
名簿メンテナンス料	320,200	名簿データ作成 メンテナンス年 間契約料
事務費	4,795	振込手数料等
旅費・日当	317,490	理事総会 常任理事会等
会議費	43,000	常任理事会 関東甲信越地区 同窓会交流会
卒業証書ファイル	401,663	卒業証書ホルダ (209冊+44冊)
通信費	12,305	現金書留 (会費返還)
人件費	100,000	役員手当
同窓会長賞	241,634	記念品 平成30年度24名
学校補助費	168,000	課外活動報告会 記念品
終身会員費返還	190,000	平成30年度 退学者19名
予備費	65,000	餞別 事務への御礼等
当年度支出合計	3,164,087	
次年度繰越金	1,711,485	
支出合計	4,875,572	

令和2年度

収入の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
繰越金	1,711,485	
繰越明許費	1,300,000	
会費	3,120,000	15,000×208名
基金取り崩し	5,164,792	
利息	19	預金利息
雑収入	850	残高証明手数料 (学校事務分)
収入合計	11,297,146	

支出の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
会報発行費	1,709,938	第20回会報 (7,730部発行 令和元年度繰越 明許費より支出)
会員案内費	1,648,606	調査ハガキー式 (平成29年度 1,497,963)
名簿メンテナンス料	264,000	名簿データ作成 メンテナンス年 間契約料
事務費	6,235	振込手数料等
旅費・日当	79,540	理事総会 常任理事会等
卒業証書ファイル	366,300	卒業証書ホルダ (189冊+36冊)
通信費	13,145	現金書留 (会費返還、 餞別)等
人件費	110,000	役員手当
同窓会長賞	213,716	記念品 令和元年度23名
学校補助費	16,000	課外活動報告会 記念品
終身会員費返還	150,000	令和元年度 退学者15名
学校寄附金	2,300,000	新型コロナウイルスに ともなう 学生支援のため
予備費	155,000	餞別 事務への御礼等
当年度支出合計	7,032,480	
次年度繰越金	4,264,666	
支出合計	11,297,146	

令和3年度

収入の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
繰越金	4,264,666	
会費	3,045,000	15,000×203名
利息	34,459	預金利息
雑収入	433	残高証明手数料 (学校事務分)
収入合計	7,344,558	

支出の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
総会補助費	1,213,627	オンライン開催 のため増額 (機材等)
ホームカミングデー	203,386	後援会合同オン ライン開催
名簿メンテナンス料	203,500	名簿データ作成 メンテナンス年 間契約料
事務費	8,696	振込手数料等
旅費・日当	35,000	理事総会 常任理事会等
卒業証書ファイル	387,464	卒業証書ホルダ (188冊+50冊)
通信費	17,492	現金書留 (会費返還)等
人件費	100,000	役員手当
同窓会長賞	65,055	記念品 令和2年度7名
終身会費返還	190,000	令和2年度 退学者20名 (1名不在)
予備費	55,765	餞別 事務への御礼等
当年度支出合計	2,479,985	
次年度繰越金	4,864,573	
支出合計	7,344,558	

事業年表〈平成31（令和元）、令和2、3年度〉

＜平成31年度（令和元年度）事業報告＞

- 4月1日 同窓会常任理事就任（和久井氏）
- 4月4日 課外活動表彰支援
- 6月28日 第1回常任理事会開催
- 9月27日 OB学内見学（専化4、18名）
- 10月1日 課外活動表彰支援
- 10月5日 関東信越地区高専同窓会交流会参加
- 12月24日 名簿メンテナンス契約締結（1年間）
- 1月22日 同窓会長賞の推薦依頼（学内教職員、2月12日締め切り）
- 2月26日 第2回常任理事会開催 同窓会長賞候補者の選考
- 3月5日 同窓会報第20号発行
- 3月7日 令和元年度理事会総会（感染症防止のため、メール審議）

＜令和2年度事業報告＞

- 4月1日 同窓会名誉会長就任（原田校長）
- 7月9日 第1回常任理事会開催
- 10月1日 課外活動表彰支援
- 10月12日 高志会会員住所調査はがき 郵送
同窓会ニュースレター 郵送

- 10月26日 令和元年度卒業生名簿データ更新
- 11月7日 関東信越地区高専同窓会交流会（オンライン開催）
- 12月24日 名簿メンテナンス契約締結（1年間）
- 1月19日 同窓会長賞の推薦依頼（学内教職員、2月5日締め切り）
- 1月20日 感染症拡大に伴う学生支援のため寄付
- 2月19日 同窓会長賞候補者の選考（オンライン決議）
- 3月15日 令和2年度理事会総会（オンライン開催）

＜令和3年度事業報告＞

- 5月7日 寄付に対する感謝状贈呈式
- 6月24日 第1回常任理事会開催（オンライン開催）
- 9月13日 令和2年度卒業生名簿データ更新
- 10月15日 ホームカミングデーおよび卒業式代替イベントの案内通知郵送
- 10月30日 関東信越地区高専同窓会交流会（オンライン開催）
- 11月6日 “Parent's & Homecoming Day 2021 in Nagaoka Kosen”開催
- 12月23日 名簿メンテナンス契約締結（1年間）
- 1月27日 同窓会長賞の推薦依頼（学内教職員、2月7日締め切り）
- 2月25日 同窓会長賞候補者の選考（オンライン決議）
- 3月9日 令和2年度理事会総会（オンライン開催）

高志会の活動紹介

高志会は、会員相互の親睦を図ると共に、工業の発展に寄与することを目的とし、長岡高専と連携し、時代に応じた活動を展開しています。従来からの主な活動は、（1）高志会総会の開催（2）同窓会報の発行（3）ニュースレターの発行の三つがあり、毎年1件ずつ3年のサイクルにて実施しています。今年度（令和4年度）は、同窓会会報の発行、来年度（令和5年度）は、ニュースレターの発行になります。

また、会員情報の管理メンテナンスを継続して行っています。住所等の変更がある場合は、事務局までご連絡ください。名簿発行は行っていませんが、同級会の開催等の目的に応じた情報の印刷紙面での提供を行っております。

その他の活動として、卒業式にて、卒業生、専攻科修了生に、卒業・修了証書カバーの提供を行うとともに、課外活動で優秀な成績を収めた卒業生への「同窓会会長賞」の贈呈を行っています。また、会員の皆様には、学園祭（高志祭、3年に一度の規模が大きい学園祭）でのホームカミングデーの開催や校内見学の要望にお応えするツアーガイドの常時対応を行っております。申し込み等の詳細については事務局までお問い合わせください。

これら高志会の活動や各種情報はホームページに掲載されています。（URL：<https://kinpoku.nagaoka-ct.ac.jp/dousoukai/>）日々の活動や理事会の報告に加えて、皆様から寄せられた記事を掲載できる「みなさまからのおたより」のコーナーもあります。会員への通知や連携および交流の場としてご活用下さい。

（事務局長（高専化学21回卒）小出 学）

同封物のご案内

本会報の発行にあたり、学校の取り組みの中で同窓会員の皆様に関わりが深いものとして以下の3つについてチラシ等を同封いたしました。ぜひ手に取ってご確認ください。

- ・長岡高専の教育研究活動支援基金「高志台さくら基金」（チラシ・払込用紙）
- ・長岡高専の卒業生の再就職を支援「UIJ Turn」（チラシ）
- ・卒業生の声を集めるキャリア教育プロジェクト「みらいテラス」（チラシ）

編 集 後 記

前回の会報発行の直後にコロナ禍が始まりましたが、本同窓会は理事会や総会をオンライン開催にするなどしながら例年通りの運営を続けております。同窓会員の皆様におかれましては、生活の大きな変化を余儀なくされたという方も多くおられるのではないのでしょうか。長岡高専も例外ではなく、教育や学校生活に多大な影響を受けてきました。今回の会報は、皆様が気になっているであろう、母校である長岡高専がどんな影響を受け、そしてそれをどう乗り越えてきたのかを伝えることを意識して作成しました。母校の奮闘に少しでも思いを寄せるきっかけとなっただけでしたら幸いです。

コロナ禍になってから学校見学も一時停止しておりましたが現在は受け付けております。よければ同級生をお誘い合わせの上、今の長岡高専を見にいらしてください。ご相談いただければ当日校内のご案内もいたしますので、お気軽に事務局にご連絡ください。

（総務（高専電制17回卒）酒井 一樹）

名簿・個人情報の取り扱いについて

同窓会高志会では、会報発行等の限定された目的のために、同窓会員の名簿を管理しております。名簿に含まれる個人情報について、委託先も含め、機密保持には万全を尽くして管理しております。

現行の名簿取扱規約では、名簿情報利用範囲を以下の4段階から各会員が指定できるようになっております（後段の号を指定した場合はその前段の号すべてを含む）。

- (1) 本会事務局（会報など）
- (2) 会員の同級生（同級会の案内など）
- (3) 全会員（行事案内など）
- (4) 長岡工業高等専門学校（卒業生アンケートなど）

平成27年度より、本科卒業時に選択する形にしております。それ以前の卒業生に関しましては現在一律で（4）とさせていただきます。変更を希望される方は事務局までご連絡ください。

また、名簿における自己情報を照会したい場合や同級会の案内等のために照会したい場合は事務局までご連絡ください。本人確認の上で開示いたします。

お知らせ掲示板

卒業生限定！

UIJターンサイトがオープンしました！

卒業生の地元での再就職活動を支援するUIJターンサイトが、本校ホームページリニューアルと同時にオープンしました！本校技術協力会に加入している企業情報・中途採用の求人票が掲載されており、地元での再就職を支援します！卒業生はHP上から卒業年次やプロフィールを入力するだけで、無料で利用出来ます（企業情報の検索だけなら登録不要）。地元でスキルを活かしたい皆さん、是非ご利用下さい！

<https://uij-turn.nagaoka-ct.ac.jp/>



[KOSEN EXPO2022]

KOSEN EXPOは、全国の高専と産業界との連携を目的とした、様々な研究・技術紹介が行われる高専機構主催のオンラインイベントです。全国の高専生や教員の研究活動紹介や、高専との連携を希望する企業団体による各種展示が行われます。在学生、保護者の皆様、卒業生、元教職員および企業の方々であれば、参加登録により令和5年2月28日までコンテンツを閲覧頂くことができます。下記URLから内容確認と無料参加登録ができます。

<https://expo2022.kosen-k.go.jp/>

長岡高専以外にも全国に存在する高専の様子を知る機会となっておりますのでご興味ある方々には是非閲覧いただければ幸いです。

長岡工業高等専門学校同窓会高志会

〒940-8532 長岡市西片貝町888

長岡工業高等専門学校内

電話：0258-34-9442

電子メール：kosikai@nagaoka-ct.ac.jp

ホームページ：

<https://kinpoku.nagaoka-ct.ac.jp/dousoukai/>